



2024年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月15日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東
コード番号 3541 URL <https://www.nousouken.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 及川 智正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 坂本 大輔 TEL 03-6417-1047
定時株主総会開催予定日 2024年11月29日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2024年11月29日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の業績（2023年9月1日～2024年8月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	7,223	25.9	93	156.4	101	117.7	108	337.4
2023年8月期	5,735	10.4	36	—	46	—	24	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	4.94	—	11.1	4.0	1.3
2023年8月期	1.13	—	2.7	1.9	0.6

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 $\Delta 27$ 百万円 2023年8月期 $\Delta 33$ 百万円

- (注) 1. 2024年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。
2. 2023年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	2,665	1,032	38.7	46.89
2023年8月期	2,418	923	38.2	41.95

(参考) 自己資本 2024年8月期 1,032百万円 2023年8月期 923百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	23	$\Delta 286$	$\Delta 31$	779
2023年8月期	124	$\Delta 28$	$\Delta 85$	1,074

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 当社は、株主への利益還元を経営の重要課題と認識しておりますが、配当政策については企業体質の強化と将来の事業展開のための内部留保を図るとともに、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本方針としております。2024年8月期の期末配当金につきましては、当期純利益を計上したものの、内部留保充当が必要であるものと判断し、無配とさせていただきます。また、2025年8月期の配当につきましても、現時点において未定であります。

3. 2025年8月期の業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300 ~8,000	1.1 ~10.8	110	17.5	110	8.1	75	△31.0	3.41

(注) 当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。2025年8月期の個別業績予想の売上高についてはレンジ形式にて開示しております。詳細は添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年8月期	22,025,900株	2023年8月期	22,025,900株
2024年8月期	4,271株	2023年8月期	3,970株
2024年8月期	22,021,755株	2023年8月期	22,022,532株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

近年の全国農業総産出額は、米、野菜、肉用牛等における国内外の需要に応じた生産の進展等を背景に、9兆円前後で推移しております。2022年の農業総産出額は、野菜の作柄不良や米の民間在庫量減少による価格の上昇、畜産における豚や鶏の価格の上昇等から、前年に比べ1,630億円増加し、9兆10億円となりました。また、近年の生産農業所得は、全国農業総産出額の増減はあるものの、3兆円台で推移しております。2022年は、国際的な原料価格の上昇等に起因する肥料代や光熱費の高騰等により、前年に比べ2,428億円減少し、3兆1,050億円となりました。(出典：農林水産省「生産農業所得統計」)。他方で、2024年2月時点の農業経営体数88万3千経営体のうち、個人経営体は84万2千経営体で、前年に比べ5.2%減少した一方、団体経営体は4万1千経営体で0.7%増加し、団体経営体のうち、法人経営体は3万3千経営体で前年に比べ1.2%増加しております(出典：農林水産省「農業構造動態調査」)。農業経営体の減少が続く中、法人化や規模拡大の進展が継続し、農業集約化の動きが加速しております。

当事業年度における青果価格は、猛暑や天候不順の影響により、平年に比べ高い水準で推移してまいりました。一方、当事業年度のスーパーマーケットにおける青果物の販売動向は、円安やエネルギーコスト上昇による消費者心理減退の懸念があるものの、相場高の影響により単価が上昇し、前年に比べ増加いたしました。

このような環境のもと、より多くの生活者に「おいしい」をお届けするために、当社の主たる事業である農家の直売所事業及び成長事業である産直卸事業を推進いたしました。前事業年度に締結いたしましたハウス食品グループ本社株式会社とのアライアンスを継続するとともに、ドラッグストアへの販路拡大等、新しい農産物流通の創造に向けた取組みの深化を進めてまいりました。各種値上げ等のコスト増が見込まれる環境においても利益が確保できるよう、流通総額の拡大とともに不採算の集荷場の統廃合や手数料等の改定を行い、事業基盤の強化に努めました。

このような取組みの結果、流通総額は15,719,135千円(前事業年度比17.6%増)、2024年8月末日時点でスーパーマーケット等の国内小売店への導入店舗数は2,106店舗(前事業年度末より111店舗増)、農産物の集荷拠点である集荷場は81拠点(前事業年度末より11拠点減)、登録生産者は10,312名(前事業年度末より66名減)となりました。

当事業年度の経営成績は、売上高は7,223,458千円(前事業年度比25.9%増)、営業利益は93,630千円(前事業年度比156.4%増)、経常利益は101,739千円(前事業年度比117.7%増)、当期純利益は108,759千円(前事業年度比337.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①農家の直売所事業

農家の直売所事業では、当社及び業務委託先が運営する集荷場で登録いただいた生産者から農産物を出荷し、原則翌日にスーパー等の「産直コーナー」で販売する独自の流通プラットフォームを提供しております。

当事業年度は、既存委託販売先との取引維持・拡大に加え、集荷場を中心に生産者からの出荷量増加のための営業活動や集荷場運営の効率化を図ってまいりました。また、スーパーでの品揃えを実現するため、品目バランスを考慮した買取委託の増加、不採算集荷場の統廃合、兵庫の集荷場における登録生産者からいただく出荷手数料の改定等、事業基盤の強化に努めました。

これにより、流通総額は13,315,990千円(前事業年度比14.8%増)、流通点数は62,726千点(前事業年度比1.9%増)、売上高は4,862,294千円(前事業年度比22.4%増)、セグメント利益は699,111千円(前事業年度比10.9%増)となりました。

②産直卸事業

産直卸事業では、当社が生産者から直接農産物を買取り、商品の「パッケージ」、売場の「POP」、生産者のおすすめ「レシピ」などで商品の付加価値を可視化し、スーパー等の通常の青果売場である「青果コーナー」で販売しております。

当事業年度は、スーパー等の取引先の旺盛なニーズに対応するため、引き続き、全国の産地や市場との連携により商品供給を強化し、既存取引先を中心に取引を拡大いたしました。

これにより、流通総額は2,403,144千円(前事業年度比36.3%増)、売上高は2,361,164千円(前事業年度比34.0%増)、セグメント利益は16,250千円(前事業年度はセグメント損失2,519千円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における流動資産は、前事業年度末に比べ24,889千円増加し、2,011,076千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少295,035千円、売掛金の増加310,520千円、棚卸資産の増加9,649千円等によるものであります。

当事業年度末における固定資産は、前事業年度末に比べ222,404千円増加し、654,356千円となりました。これは主に、有形固定資産の減少1,461千円、無形固定資産の減少32,897千円、投資その他の資産の増加256,763千円によるものであります。

(負債)

当事業年度末における流動負債は、前事業年度末に比べ143,697千円増加し、1,336,199千円となりました。これは主に、買掛金の増加121,996千円、短期借入金の減少18,326千円、1年内返済予定の長期借入金の減少8,370千円、未払金の増加16,003千円、未払消費税等の増加13,006千円、預り金の増加7,116千円、賞与引当金の増加12,100千円等によるものであります。

当事業年度末における固定負債は、前事業年度末に比べ5,342千円減少し、296,541千円となりました。これは主に、長期借入金の減少4,561千円等によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末に比べ108,939千円増加し、1,032,691千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加108,759千円、新株予約権の増加180千円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前事業年度末に比べ295,035千円減少し、779,433千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は23,736千円となりました(前年同期は124,770千円の収入)。これは主に、税引前当期純利益101,749千円、減価償却費63,082千円、賞与引当金の増加12,100千円、売上債権の増加310,520千円、仕入債務の増加121,996千円、未払金の増加28,091千円、未払消費税等の増加13,006千円及び法人税等の支払額5,706千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は286,879千円となりました(前年同期は28,559千円の支出)。これは主に、有形固定資産の取得による支出14,736千円、無形固定資産の取得による支出26,075千円、投資有価証券の取得による支出196,068千円、関係会社株式の取得による支出50,000千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は31,892千円となりました(前年同期は85,833千円の支出)。これは主に、短期借入金の純減少額18,326千円、長期借入れによる収入50,000千円、長期借入金の返済による支出62,931千円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期
自己資本比率(%)	36.8	38.2	38.7
時価ベースの自己資本比率(%)	330.2	302.4	225.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	8.9	3.1	15.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	17.4	47.8	9.8

(注) 1. 各指標はいずれも財務数値を用いて、以下の計算式より算出しております。

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数により算出しております。

3. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている営業活動によるキャッシュ・フロー、支払利息を使用しております。

(4) 今後の見通し

当事業年度の青果価格は天候不順や猛暑による影響等で平年よりも高い水準で推移いたしました。次期事業年度につきましても同様の傾向が続くことが予想されます。

そのような外部環境の中、当社の主たる事業である農家の直売所事業では、当事業年度に開設した店舗が通年で寄与することに加え、集荷場の開設及び機能拡大や加工・物流センターの拡充により、供給力の強化を進めてまいります。産直卸事業では、主要産地との連携や需給調整のシステム化を推進し、既存取引先への営業を強化してまいります。加えて、スーパー以外の販路での販売エリア・店舗数・品目を拡大し、流通総額の伸長を図ってまいります。

以上により、2025年8月期の業績見通しにつきましては、流通総額16,500,000千円～17,500,000千円(前事業年度比5.0%～11.3%増)、売上高は7,300,000千円～8,000,000千円(前事業年度比1.1%～10.8%増)、営業利益110,000千円(前事業年度比17.5%増)、経常利益110,000千円(前事業年度比8.1%増)、当期純利益75,000千円(前事業年度比31.0%減)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,074,469	779,433
売掛金	881,493	1,192,013
商品	15,964	25,613
前払費用	16,783	16,898
その他	2,765	4,163
貸倒引当金	△5,288	△7,046
流動資産合計	1,986,186	2,011,076
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	31,531	31,964
減価償却累計額	△12,082	△14,172
建物附属設備 (純額)	19,449	17,792
構築物	38,538	47,549
減価償却累計額	△13,622	△17,215
構築物 (純額)	24,916	30,334
機械及び装置	49,840	49,840
減価償却累計額	△25,642	△32,563
機械及び装置 (純額)	24,197	17,276
車両運搬具	700	-
減価償却累計額	△699	-
車両運搬具 (純額)	0	-
工具、器具及び備品	14,018	18,960
減価償却累計額	△8,873	△11,267
工具、器具及び備品 (純額)	5,144	7,693
その他	6,212	6,212
減価償却累計額	△438	△1,288
その他 (純額)	5,774	4,923
有形固定資産合計	79,481	78,020
無形固定資産		
ソフトウェア	117,288	84,390
無形固定資産合計	117,288	84,390
投資その他の資産		
投資有価証券	-	196,201
関係会社株式	88,404	138,404
繰延税金資産	113,928	126,800
その他	32,849	30,539
投資その他の資産合計	235,182	491,945
固定資産合計	431,952	654,356
資産合計	2,418,139	2,665,433

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	798,693	920,690
短期借入金	48,354	30,028
1年内返済予定の長期借入金	55,434	47,064
未払金	173,140	189,143
未払費用	5,829	8,154
未払法人税等	5,531	5,686
未払消費税等	21,815	34,821
前受金	1,125	954
預り金	9,933	17,049
賞与引当金	38,864	50,964
その他	33,779	31,641
流動負債合計	1,192,502	1,336,199
固定負債		
長期借入金	285,796	281,235
資産除去債務	12,997	13,034
その他	3,091	2,272
固定負債合計	301,884	296,541
負債合計	1,494,387	1,632,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金		
資本準備金	531,633	531,633
その他資本剰余金	317,495	317,495
資本剰余金合計	849,128	849,128
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	24,866	133,625
利益剰余金合計	24,866	133,625
自己株式	△242	△243
株主資本合計	923,752	1,032,511
新株予約権	—	180
純資産合計	923,752	1,032,691
負債純資産合計	2,418,139	2,665,433

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	5,735,203	7,223,458
売上原価		
商品期首棚卸高	14,447	15,964
当期商品仕入高	2,787,674	3,860,556
合計	2,802,121	3,876,521
商品期末棚卸高	15,964	25,613
売上原価	2,786,157	3,850,907
売上総利益	2,949,045	3,372,551
販売費及び一般管理費	2,912,527	3,278,921
営業利益	36,517	93,630
営業外収益		
受取利息	40	117
有価証券利息	—	616
受取賃貸料	960	960
受取保険金	1,239	1,617
補助金収入	12,157	8,035
その他	1,234	1,675
営業外収益合計	15,630	13,022
営業外費用		
支払利息	2,610	2,429
消費税差額	2,794	2,484
営業外費用合計	5,404	4,913
経常利益	46,744	101,739
特別利益		
関係会社株式売却益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
関係会社株式評価損	16,873	—
特別損失合計	16,873	—
税引前当期純利益	29,870	101,749
法人税、住民税及び事業税	5,540	5,861
法人税等調整額	△535	△12,871
法人税等合計	5,004	△7,009
当期純利益	24,866	108,759

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	546,633	531,633	-	531,633	△179,137	△179,137	△242	898,886	898,886
当期変動額									
減資	△496,633		496,633	496,633				-	-
欠損填補			△179,137	△179,137	179,137	179,137		-	-
当期純利益					24,866	24,866		24,866	24,866
当期変動額合計	△496,633	-	317,495	317,495	204,003	204,003	-	24,866	24,866
当期末残高	50,000	531,633	317,495	849,128	24,866	24,866	△242	923,752	923,752

当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	50,000	531,633	317,495	849,128	24,866	24,866	△242	923,752	-	923,752
当期変動額										
当期純利益					108,759	108,759		108,759		108,759
自己株式の取得							△0	△0		△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)									180	180
当期変動額合計	-	-	-	-	108,759	108,759	△0	108,759	180	108,939
当期末残高	50,000	531,633	317,495	849,128	133,625	133,625	△243	1,032,511	180	1,032,691

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	29,870	101,749
減価償却費	60,809	63,082
関係会社株式評価損	16,873	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△58	1,757
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,784	12,100
受取利息	△40	△734
支払利息	2,610	2,429
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△10
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,482	△9,649
売上債権の増減額 (△は増加)	5,600	△310,520
仕入債務の増減額 (△は減少)	41,792	121,996
未払金の増減額 (△は減少)	2,214	28,091
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△30,748	13,006
その他	21,999	8,258
小計	145,656	31,559
利息及び配当金の受取額	39	333
利息の支払額	△2,565	△2,449
法人税等の支払額	△18,360	△5,706
営業活動によるキャッシュ・フロー	124,770	23,736
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,365	△14,736
無形固定資産の取得による支出	△25,730	△26,075
投資有価証券の取得による支出	-	△196,068
関係会社株式の取得による支出	-	△50,000
関係会社株式の売却による収入	-	10
その他	△1,463	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,559	△286,879
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△19,992	△18,326
長期借入れによる収入	-	50,000
長期借入金の返済による支出	△65,430	△62,931
新株予約権の発行による収入	-	180
その他	△411	△815
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,833	△31,892
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,377	△295,035
現金及び現金同等物の期首残高	1,064,091	1,074,469
現金及び現金同等物の期末残高	1,074,469	779,433

- (5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
関連会社に対する投資の金額	88,404千円	135,004千円
持分法を適用した場合の投資の金額	39,153	43,945
持分法を適用した場合の投資損失(△)の金額	△33,724	△27,796

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 報告セグメントの概要

1. 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、農家の直売所事業及び産直卸事業を主な事業と位置づけております。当社はこれらを基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「農家の直売所事業」及び「産直卸事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類は、次のとおりであります。

報告セグメント	事業セグメント	サービス名称及び内容等
農家の直売所事業	農家の直売所事業	スーパー等の青果売場内の産直コーナー向け事業 生産者が経営主体となって販売先や販売価格を決定できる独自の農産物流通プラットフォームを提供
産直卸事業	産直卸事業	スーパー等の青果売場内の青果コーナー向け事業 生産者から直接農産物を買取り、ブランディング(付加価値の見える化)を加え、顔が見える安心安全な商品を卸販売にて提供

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、当事業年度にかかる財務諸表作成において採用している会計方針と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

II 前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	財務諸表 計上額 (注2)
	農家の直売所 事業	産直卸事業	計		
売上高					
委託販売システム	1,891,975	—	1,891,975	—	1,891,975
買取委託販売	1,831,659	—	1,831,659	—	1,831,659
卸販売	—	1,762,680	1,762,680	—	1,762,680
その他	248,887	—	248,887	—	248,887
顧客との契約から生じる収益	3,972,523	1,762,680	5,735,203	—	5,735,203
外部顧客への売上高	3,972,523	1,762,680	5,735,203	—	5,735,203
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,972,523	1,762,680	5,735,203	—	5,735,203
セグメント利益又は損失(△)	630,165	△2,519	627,646	△591,128	36,517
その他の項目					
減価償却費(注3)	5,230	49	5,279	55,530	60,809
関係会社株式評価損	—	—	—	16,873	16,873

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△591,128千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用591,128千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。ただし、配分されていない償却資産の減価償却費は合理的な配賦基準で各事業セグメントへ配賦しております。

Ⅲ 当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	財務諸表 計上額 (注2)
	農家の直売所 事業	産直卸事業	計		
売上高					
委託販売システム	1,888,572	—	1,888,572	—	1,888,572
買取委託販売	2,720,568	—	2,720,568	—	2,720,568
卸販売	—	2,361,164	2,361,164	—	2,361,164
その他	253,153	—	253,153	—	253,153
顧客との契約から生じる収益	4,862,294	2,361,164	7,223,458	—	7,223,458
外部顧客への売上高	4,862,294	2,361,164	7,223,458	—	7,223,458
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,862,294	2,361,164	7,223,458	—	7,223,458
セグメント利益	699,111	16,250	715,361	△621,731	93,630
その他の項目					
減価償却費 (注3)	5,596	392	5,989	57,093	63,082

- (注) 1. セグメント利益の調整額△621,731千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用621,731千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。ただし、配分されていない償却資産の減価償却費は合理的な配賦基準で各事業セグメントへ配賦しております。

【関連情報】

前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社ライフコーポレーション	666, 146	農家の直売所事業及び産直卸事業

(注) 農家の直売所事業における委託販売システムについては、スーパー等での販売実績に応じた手数料を含めております。また、買取委託販売については、スーパー等の委託販売先を通じた売上高を含めております。

当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社ライフコーポレーション	1, 044, 504	農家の直売所事業及び産直卸事業

(注) 農家の直売所事業における委託販売システムについては、スーパー等での販売実績に応じた手数料を含めております。また、買取委託販売については、スーパー等の委託販売先を通じた売上高を含めております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	41.95円	46.89円
1株当たり当期純利益	1.13円	4.94円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前事業年度は潜在株式が存在していないため記載していません。また、当事業年度は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	923,752	1,032,691
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円) (うち、新株予約権 (千円))	— (—)	180 (180)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	923,752	1,032,511
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	22,021,930	22,021,629

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益 (千円)	24,866	108,759
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	24,866	108,759
普通株式の期中平均株式数 (株)	22,022,532	22,021,755
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	2024年4月25日開催の取締役会決議に基づき、2024年5月10日付で割当した新株予約権 (新株予約権の目的となる株式の数180,000株) については、当事業年度においては希薄化効果を有していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。